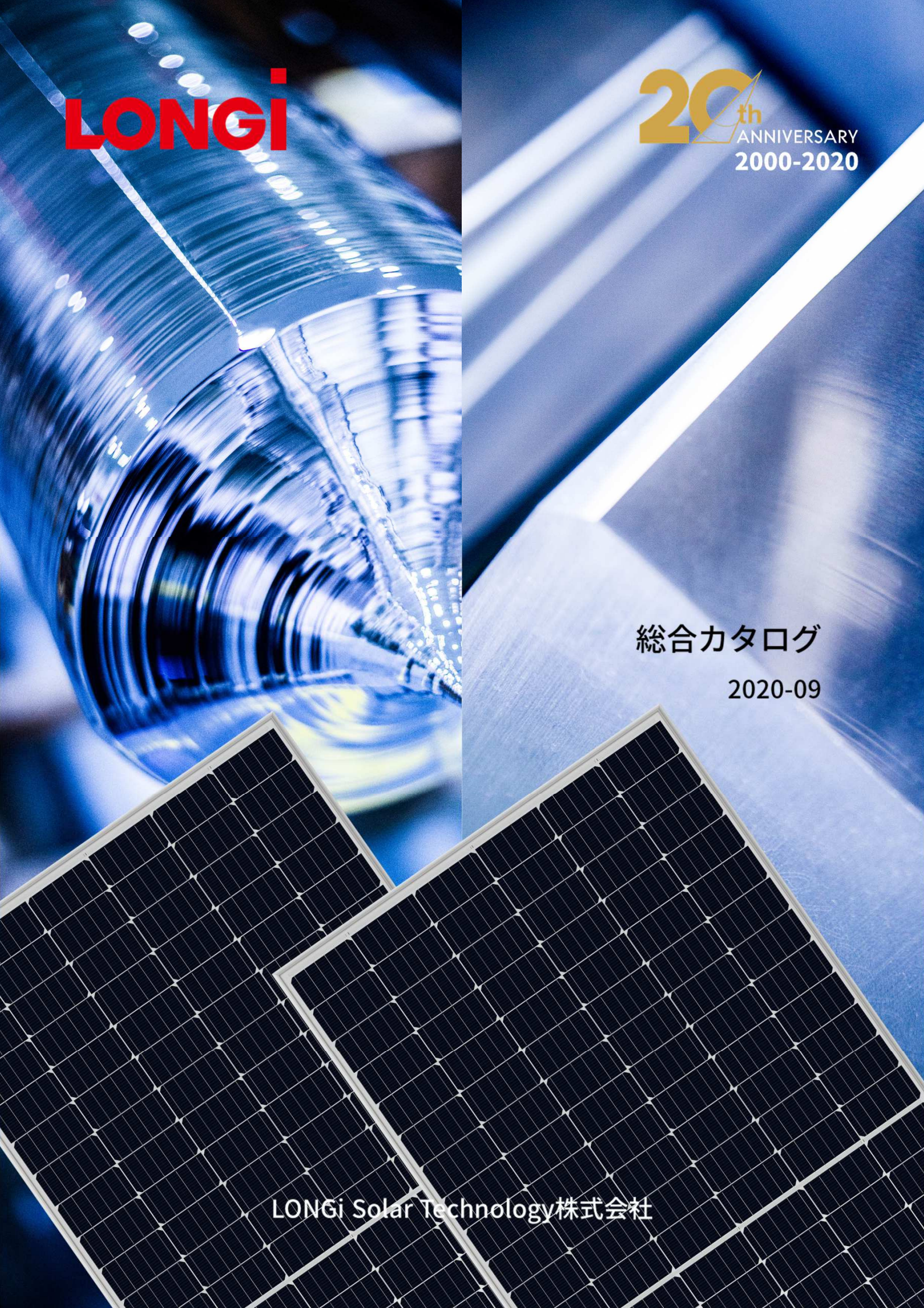


The background of the cover is a composite image. The top left shows a close-up of a silicon wafer being processed by a laser, with bright sparks and a blue-tinted motion blur. The top right is a blurred image of industrial machinery. The bottom half of the cover features two large, overlapping images of monocrystalline solar panels, showing their characteristic grid pattern of cells.

LONGi

20th
ANNIVERSARY
2000-2020

総合カタログ

2020-09

LONGi Solar Technology株式会社

会社概要

LONGi (ロンジ)は、**世界最大※1の太陽電池メーカー**です。**単結晶シリコン専門**でインゴット・ウェハからセル、モジュールまで一貫した研究開発・生産・品質管理を行っており、付加価値と信頼性が高い、高性能・高品質の単結晶太陽電池モジュールをお客様にご提供しております。



- ・上海証券取引所上場（601012：LONGi Green Energy Technology Co., Ltd.）
- ・2019年12月末時点総資産：593億人民元（日本円で9100億円超※2）
- ・インゴット生産から行う単結晶ウェハ事業は、世界市場シェア38%で1位、多結晶も含めた全ウェハにおいても世界市場シェア26%で1位、生産能力は2019年末時点42GW
- ・太陽電池セル・モジュール事業は、2014年10月から開始し、2020年上半期のモジュール出荷量は世界市場2位※3、生産能力は2019年末時点で14GW

沿革

- 2000年 西安新盟电子科技有限公司設立（創業）
- 2007年 **太陽電池用の単結晶シリコンインゴット**を生産開始
- 2009年 太陽電池用の単結晶シリコン**ウェハ**を生産開始
- 2012年 上海証券取引所の第一部に上場
- 2014年 LERRI Solar Technologyを傘下に収め、**セル・モジュール事業**を開始
- 2016年 日本法人設立
- 2017年 セル・モジュール事業のブランド LONGi Solar 導入
研究開発(R&D)年間支出が太陽光発電業界記録更新
日本市場で本格的に営業活動を開始
- 2018年 単結晶モジュール出荷量が世界市場で3年連続No.1
中国市場で2年連続出荷量No.1
- 2019年 太陽電池製造4大工程生産量合計で世界No.1に※1
- 2020年 創業20周年



創業者・会長
李 振国

大学(1990年卒)で半導体を専攻。卒業後は単結晶シリコンのビジネスに携わる。2000年に大学研究室時代の仲間と共にロンジを設立。

太陽光発電用単結晶シリコンインゴット・ウェハの事業を2007年から開始。当時、世界各国でPV市場・産業が成長し、多くのメーカーが低価格の多結晶シリコン太陽電池を主体にビジネスを行っていた中でも、研究者・技術者である李は、「将来的には必ず、技術の進歩で単結晶が優位になる」と判断し単結晶のみに専念し続ける。

そして、研究開発に注力し、製造技術を革新し続けたことで生産性が大きく向上し、コストダウンを実現。

更に、完成品の単結晶モジュールが市場では割高で供給されていた状況や、中国国内の大気汚染、世界のエネルギー・環境問題に対して、「自分達で単結晶モジュールをリーズナブルに提供し、世界のエネルギー転換を進めたい」という想いから、2014年、セル・モジュール事業に参入。

※1:太陽電池製造4大工程（原料ポリシリコン/ウェハ/セル/モジュール）の各生産量の合計において。出典：PV Info Link “ Supply and Demand Database - Apr. 2020”（2020年4月23日）より当社集計 ※2：1人民元＝15.5円として換算 ※3：資源総合システム「今週のハイライト」No.431(2020年9月4日)より

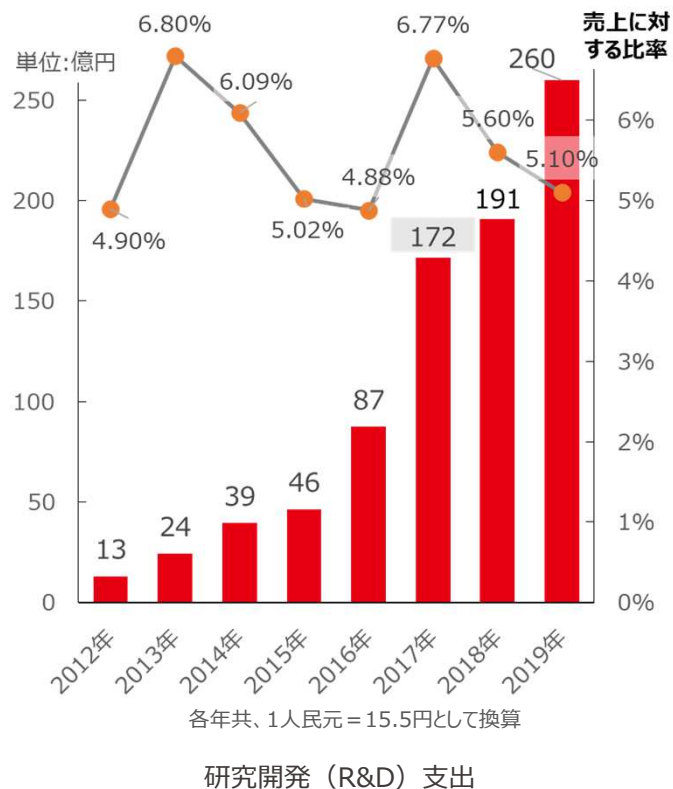
■ ほぼ毎年、売上の5%以上を研究開発へ
惜しむことなく、将来の技術へ投資

2017年には、太陽光発電業界の研究開発でリーダー的な存在であった米国の2社を超えただけではなく、LONGi の1年間のR&D支出額が世界新記録に。

2007年～17年の累計でもLONGi は3位に。

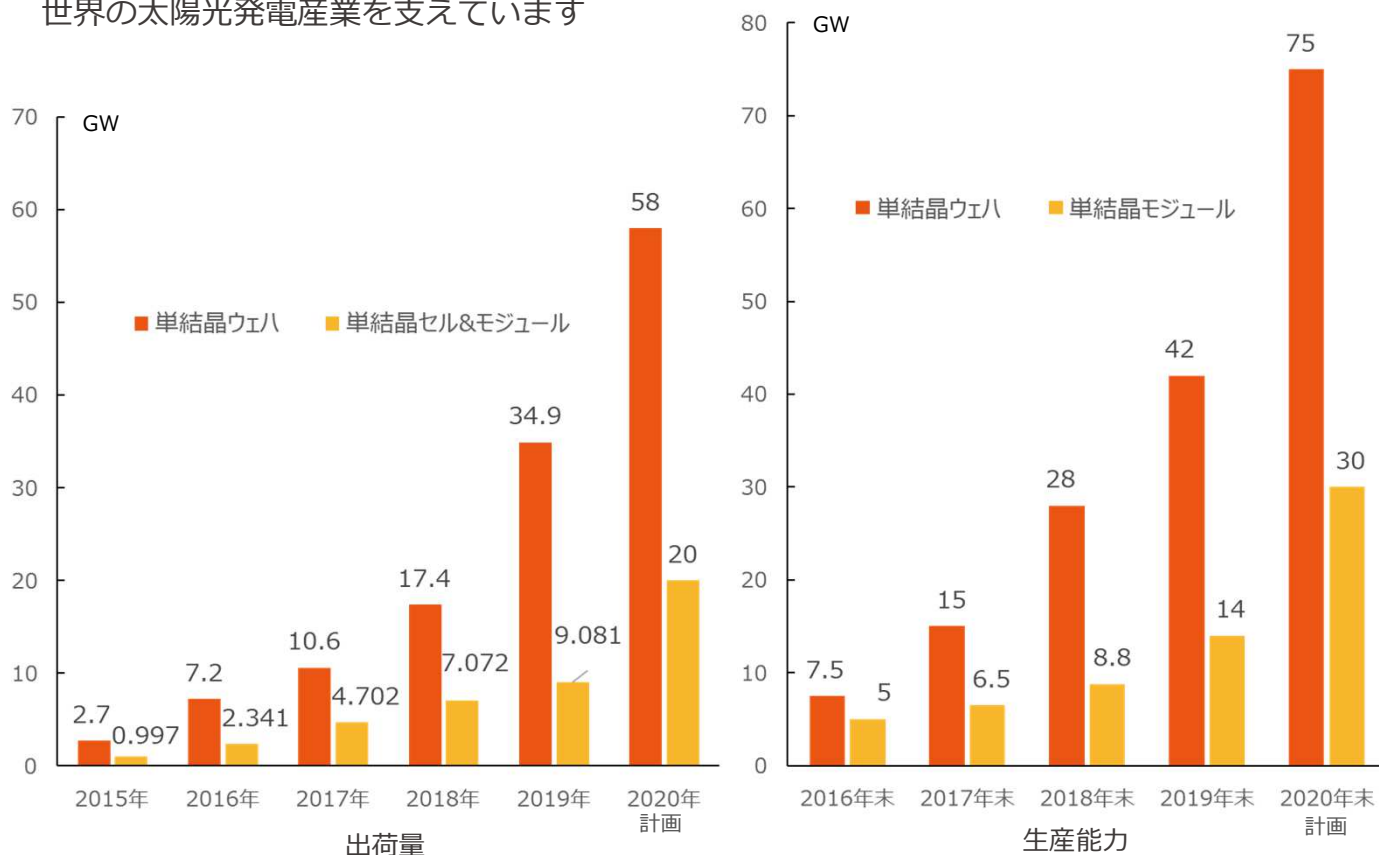
技術進歩の例

インゴットの長さ		ウェハ価格（1枚）	
2007年	2018年	2007年	2019年6月
1.7m	4 m	\$13	\$ 0.4



■ 積極的な生産能力の拡大

インゴットから生産を行う単結晶ウェハ事業はモジュール事業の約3倍
世界の太陽光発電産業を支えています

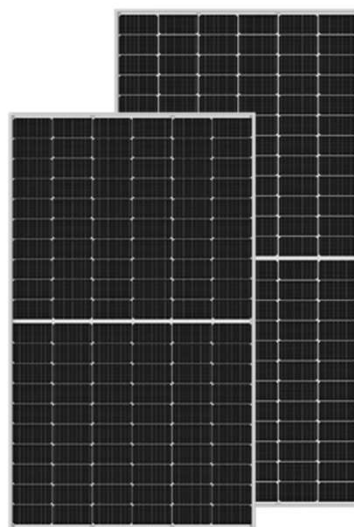


ウェハは生産枚数から、60セルモジュールを次の出力として算出しています。
2015年:280W 2016年:285W 2017年:290W 2018年:300W 2019年:320W

世界市場における位置付け

■ 太陽電池モジュール出荷量ランキング

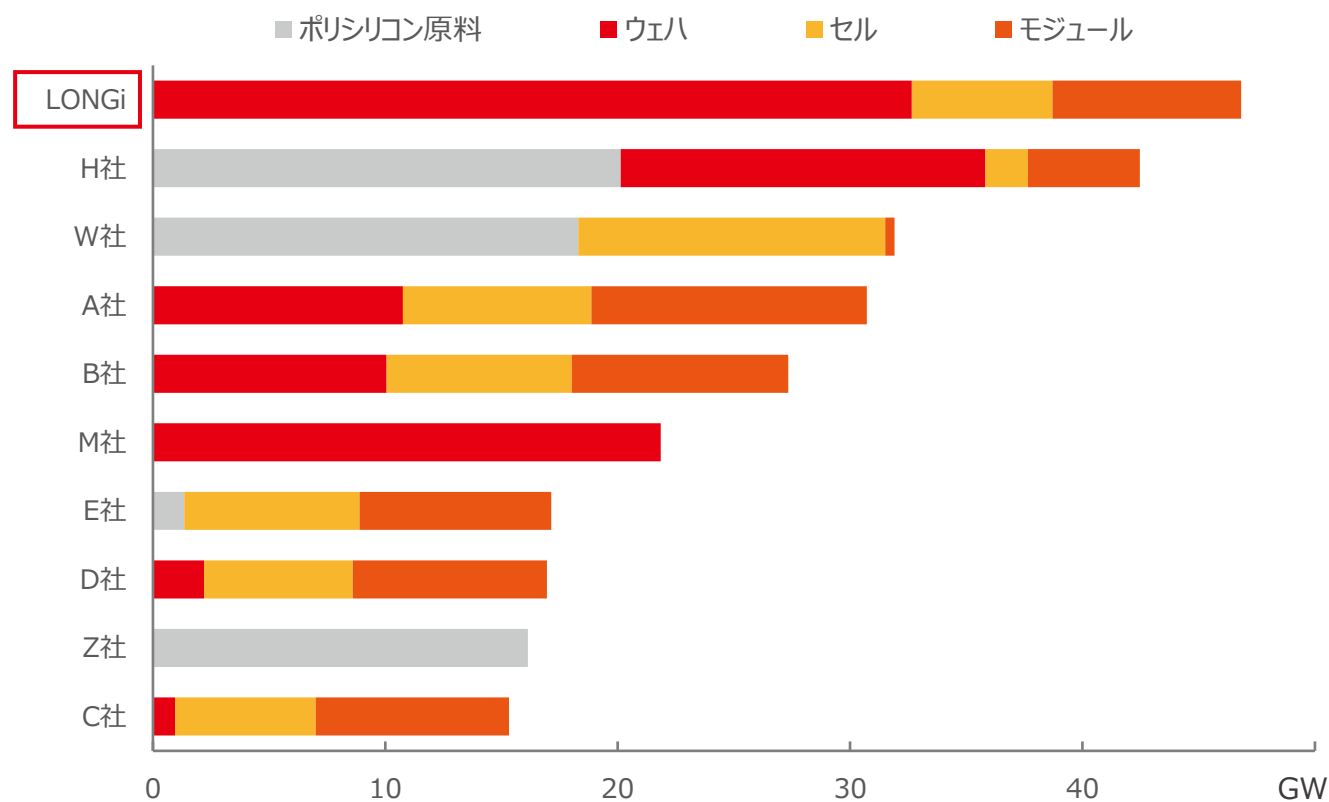
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 上期
1	A 社	A 社	A 社	A 社	A社
2	C 社	C 社	B 社	B 社	LONGi
3	D 社	B 社	C 社	C 社	C社
4	B 社	D 社	D 社	D 社	B社
5	E 社	E 社	LONGi	LONGi	D社
6	H 社	H 社	E 社	E 社	E 社
7	G 社	LONGi	H 社	F 社	F 社
8	K 社	K 社	F 社	G 社	G 社
9	LONGi	F 社	I 社	J 社	J 社
10	L 社	G 社	J 社	H 社	I社



出典) 資源総合システム「太陽光発電情報」等より。

注) ランキングは調査者や調査時期により様々な結果が存在します。上記のランキングが最も正確なものとは限りません。

■ 太陽電池製造業界・4大工程の合計生産量ランキング（2019年）

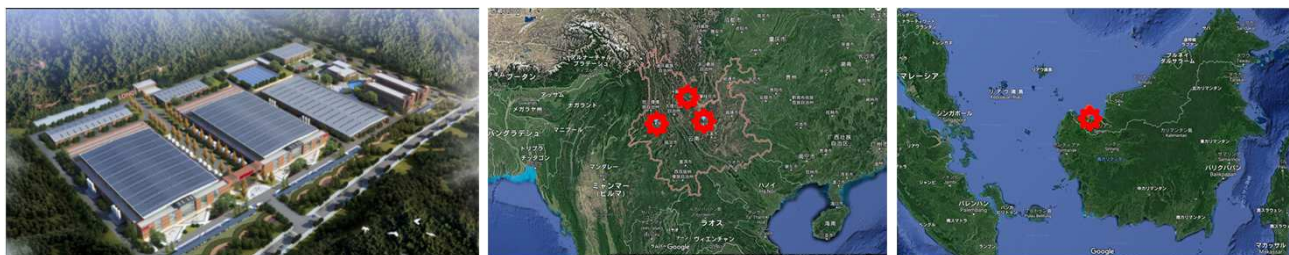


太陽電池製造4大工程（原料ポリシリコン/ウェハ/セル/モジュール）の各生産量の合計において。

出典：PV Info Link "Supply and Demand Database - Apr. 2020" (2020年4月23日) より当社集計。

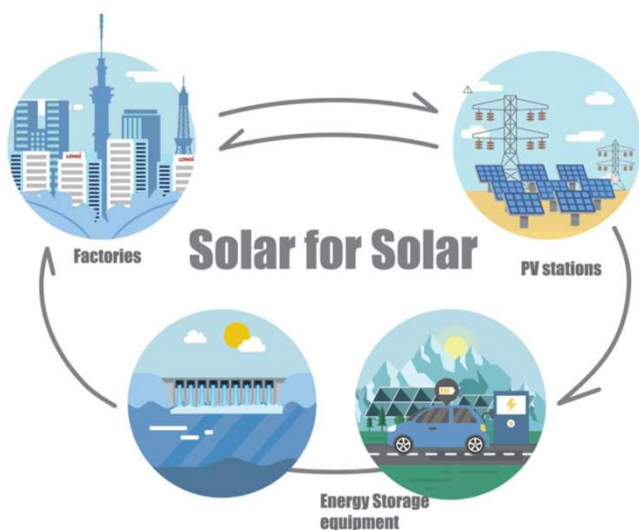
Our Vision

「自然エネルギーの太陽電池は、それを生産するエネルギーも、環境負荷が少ないエネルギーにするべき」という、当社の考え、特に創業者の李振国の強い想いもあり、生産の拡大にあたっては、水力資源が豊富な、中国・雲南省とマレーシア(カリマンタン島)・クチンに生産拠点を展開しています。これらの生産拠点では、生産に必要なエネルギーは100%、水力発電の電力で賄うことを実現しています。



そして、近い将来LONGiは、蓄電システムと組み合わせて、太陽光発電製品を生産するために太陽光発電を使用する「Solar for Solar」工場を構築します。「Solar for Solar」は、二酸化炭素などの炭素排出量はプロセス全体を通してゼロであり、地球環境保護のために適した方法です。「Solar for Solar」モデルによって、太陽光発電産業界は進化し続け、更に多くの自然エネルギーを生み出していくことでしょう。

またLONGiは、ビジョンのロードマップにおいて「今世紀前半に地球が完全に自然エネルギーで自立する」ことを掲げています。今後も全地球・全人類の持続可能な発展のために、電力とエネルギーの変革を先導し続けて参ります。



Vision & Roadmap

2020	太陽光発電産業の工場で自然エネルギーの利用を開始
2025	更に、太陽光+揚水式水力+蓄電の利用を開始
2030	太陽光発電は電気自動車の主要電源に
2035	化石エネルギーから再生可能エネルギーへの転換が加速
2040	太陽光発電+海水淡水化が砂漠を灌漑し、オアシスを作り出す
2045	太陽光による水素エネルギーが空と海の輸送に利用される
2050	地球は再生可能エネルギー100%を実現以降、地球の炭素排出量はマイナスモードに

国際イニシアチブ「RE100」に加盟

RE 100

LONGi (LONGi Green Energy Technology Co., Ltd.) は2020年3月12日、事業活動で使用する電力を再生可能エネルギーで100%賄うことを目指す国際イニシアチブ「RE100」に加盟しました。

LONGiは、世界中の事業活動で使用する全電力を2028年までに100%再生可能エネルギー由来の電力にすることにコミットし、中間目標として2027年までに70%達成を掲げています。

ドバイ国際博覧会、中国パビリオンの太陽光発電スポンサーに選定

LONGiは「2020年ドバイ国際博覧会（Expo 2020 Dubai）」※の中国パビリオンにおける太陽光発電スポンサーに選ばれました。



博覧会会場イメージ

出典：経済産業省ウェブサイト (<https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/dubai/dubai2020.html>) より

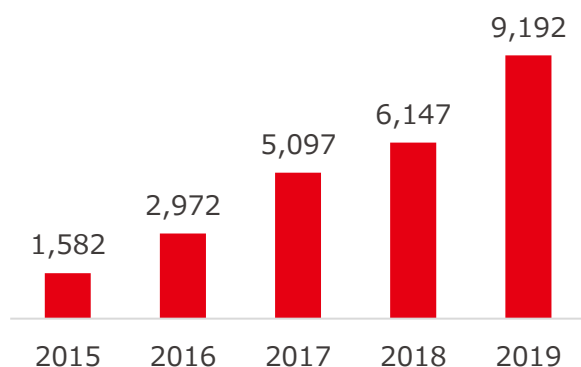


中国パビリオンイメージ

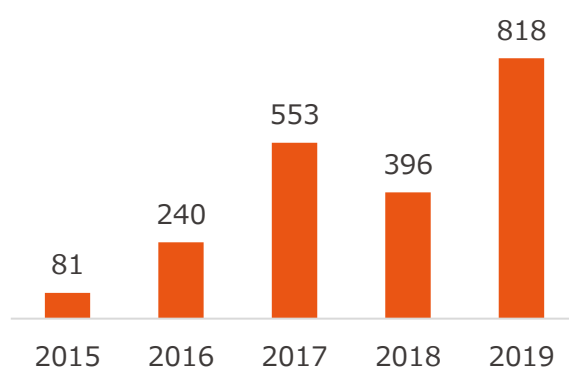
※ 2020年ドバイ国際博覧会（Expo 2020 Dubai UAE）は、U.A.E.（アラブ首長国連邦）ドバイ市において、2021年10月1日から2022年3月31日まで開催予定。

財務基盤・業績

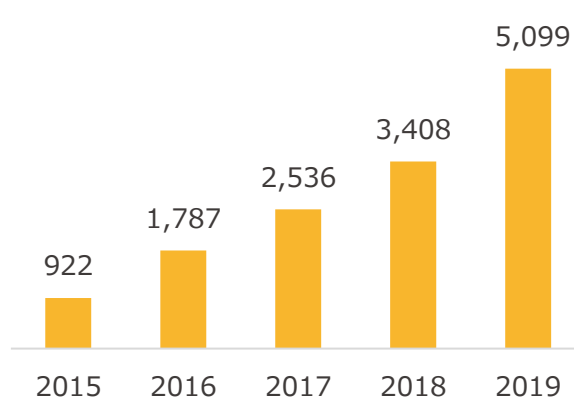
■ 総資産（単位：億円）



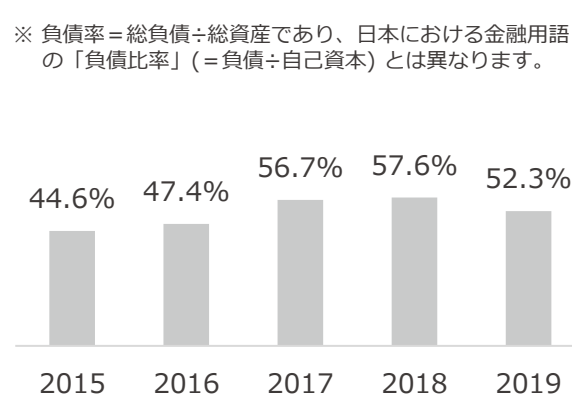
■ 純利益（単位：億円）



■ 売上高（単位：億円）



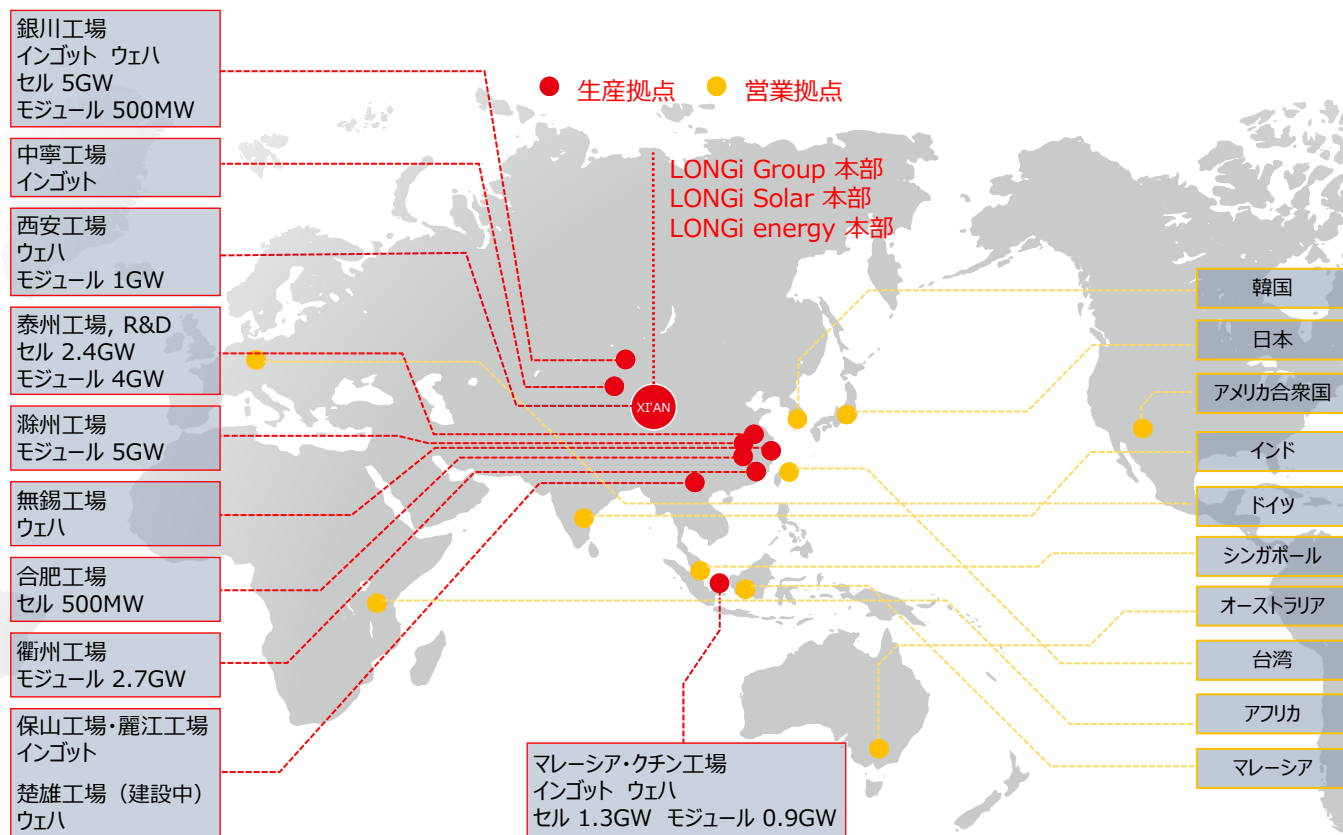
■ 負債率※



※ 負債率＝総負債÷総資産であり、日本における金融用語の「負債比率」（＝負債÷自己資本）とは異なります。

各年共、1人民元＝15.5日本円で換算

グローバルネットワーク



各工場のセル及びモジュールについての数値は年間生産能力です（2019年1月時点情報、2019年内の拡張計画を含む）

■ 日本法人の会社概要

会社名 (英語表記)	LONGi Solar Technology株式会社 (LONGi Solar Technology K.K.)
代表	代表取締役社長 南 洋（ナン ヨウ）
本社所在地	〒104-0043 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル24階 電話 03-3516-6300 FAX 03-3516-6301
設立	2016年 5月
資本金	1億円
株主	LONGi Green Energy Technology Co., Ltd. (100%)
決算期	12月
主な事業内容	単結晶シリコン太陽電池モジュールの販売
従業員数	22名（2020年 9月現在）
主要取引銀行	みずほ銀行 日本橋支店

太陽電池モジュール

好評のHi-MO 4シリーズと、新登場のHi-MO 5シリーズによって、
屋根上設置の小規模、規模の太陽光発電システムから、特別高圧の大規模な太陽光発電所まで、
わかり易い4つのサイズ・出力帯のラインナップの中からお選びいただけます。

Hi-MO 4

Hi-MO 4m

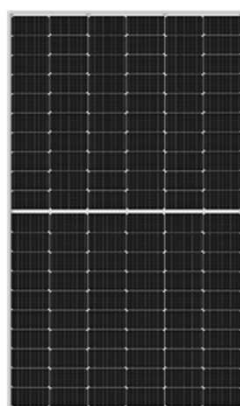
- 新規格M6ウェハによる出力アップ（従来ウェハ比 1.12倍）
- マルチバスバー等※1の採用による出力アップ
- ハーフカットセルによる出力アップ、ホットスポット発生時のリスク低減、従来(フルセルタイプ)モジュールに比べて部分影による発電量低下を抑制。

(選定の目安※3)

小規模

中規模

屋根上設置



表面

60セルクラスタイプ

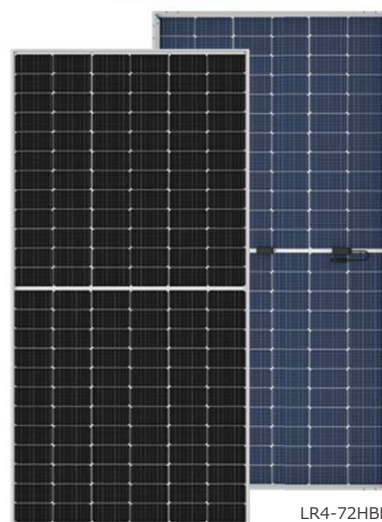
Hi-MO 4m

型式：LR4-60HPH
シリーズ

公称最大出力※2:
360～380W

モジュール変換効率:
19.8～20.9%

外形寸法:
1755×1038×35(mm)



表面

LR4-72HBD
シリーズ
の裏面

(セル間は透明(光透過型)ではなく、白色となります。)

72セルクラスタイプ

Hi-MO 4m

型式：LR4-72HPH
シリーズ

公称最大出力※2:
435～455W

モジュール変換効率:
20.0～20.9%

外形寸法:

Hi-MO 4

型式：LR4-72HBD
シリーズ

両面発電(ダブルガラス)

公称最大出力※2:
435～450W

モジュール変換効率:
20.0～20.7%

2094×1038×35(mm)

※1: 6本バスバー及びマルチバスバー ※2: ご提供できる出力は納入時期等により異なり、かつ、限定されます。表記にはJP-ACに今後登録される予定の出力も含まれている場合があります。 ※3: 小規模、中規模、大規模、屋根上設置の表記は、あくまで目安ですので、規模等によって選定が限定されるものではなく、自由に選定していただけます。

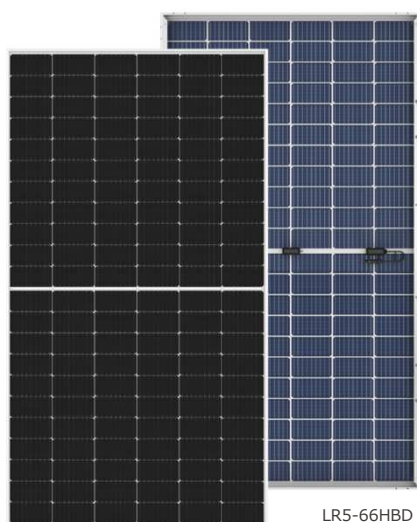
また、LONGi 単結晶PERC技術による高温時・低照度時の出力特性や経年出力低下の抑制による優れた生涯発電量、そして、システム電圧1500V対応によるシステムコストの削減によって、より一層の発電コスト低減が期待できます。

Hi-MO 5

Hi-MO 5m

- 更なる新規格M10ウェハによる出力アップ（M6ウェハ比 1.2倍）
- マルチバスバーとスマート・ソルダリングの採用による出力アップとモジュール変換効率の向上
- ハーフカットセルによる出力アップ、ホットスポット発生時のリスク低減、従来(フルセルタイプ)モジュールに比べて部分影による発電量低下を抑制。

大規模



表面
(セル間は透明(光透過型)ではなく、白色となります。)
LR5-66HBD
シリーズ
の裏面

66セルクラスタイプ

Hi-MO 5m

Hi-MO 5

型式：LR5-66HPH
シリーズ

型式：LR5-66HPH
シリーズ

両面発電(ダブルガラス)

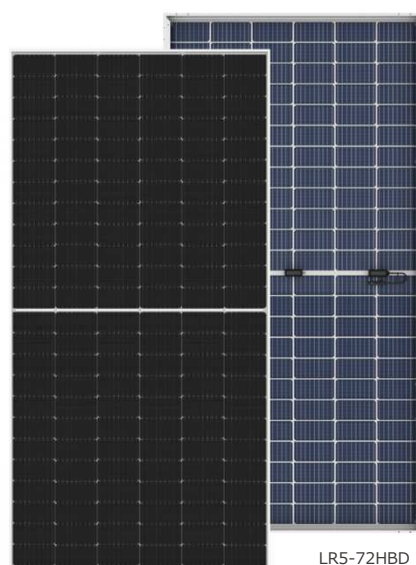
公称最大出力※2:
490～500W

公称最大出力※2:
485～495W

モジュール変換効率:
20.9～21.3%

モジュール変換効率:
20.6～21.1%

外形寸法:
2073×1133×35 (mm)



表面
(セル間は透明(光透過型)ではなく、白色となります。)
LR5-72HBD
シリーズ
の裏面

72セルクラスタイプ

Hi-MO 5m

Hi-MO 5

型式：LR5-72HPH
シリーズ

型式：LR5-72HBD
シリーズ

両面発電(ダブルガラス)

公称最大出力※2:
535～545W

公称最大出力※2:
530～540W

モジュール変換効率:
20.9～21.3%

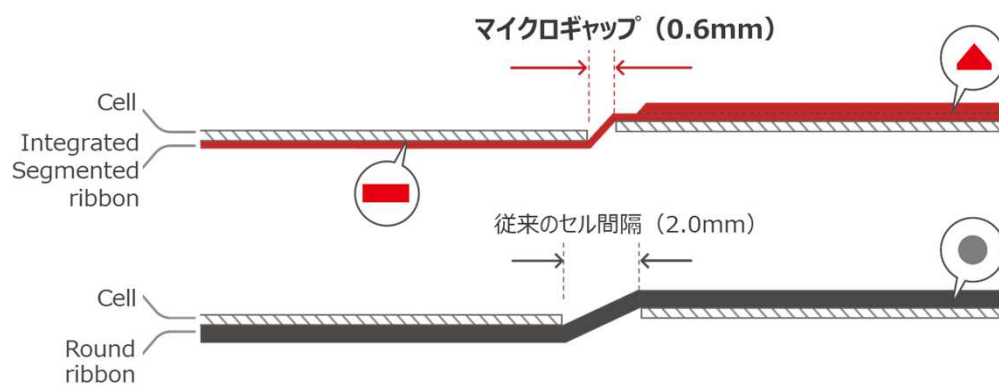
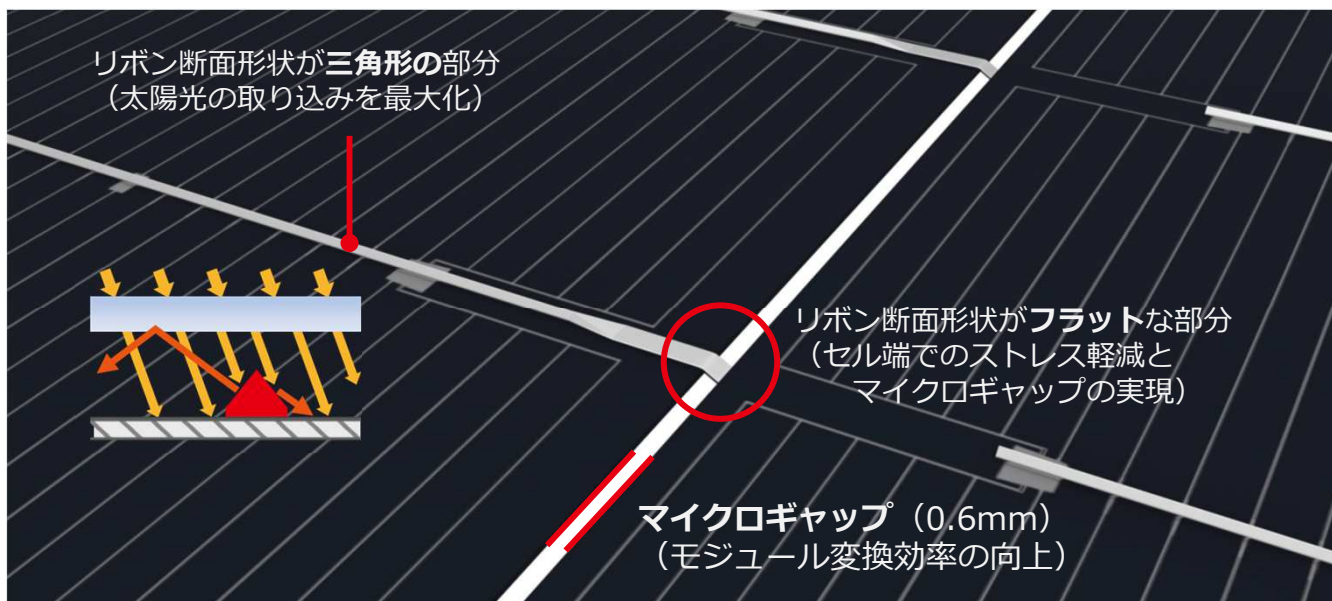
モジュール変換効率:
20.7～21.1%

外形寸法:
2256×1133×35 (mm)

注) 製品仕様は予告なく変更する場合があります。具体的なご検討の際には仕様・出力・納期を必ず担当営業へお問い合わせください。また、ご購入の際は最新の製品仕様書をご確認ください。

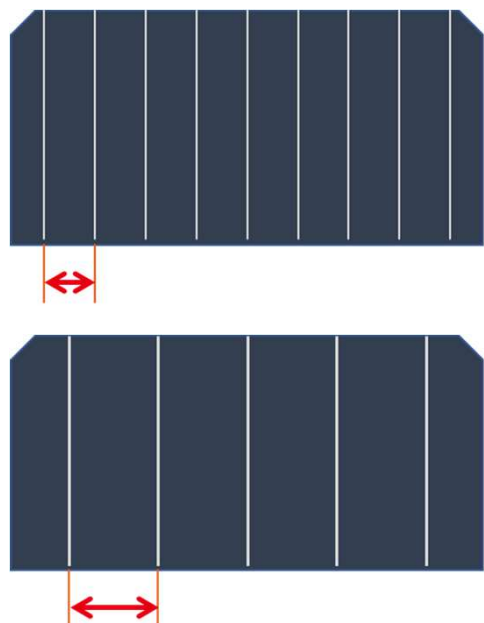
スマート・ソルダリング (Hi-MO 5・Hi-MO 5m)

出力アップ、信頼性向上、そして、マイクロギャップの実現による変換効率の向上



マルチバスバー

バスバー間の距離が短いため、発生した電子を集め易く、電流の通り道も増えて分散されることで抵抗損失が減り、出力がアップ



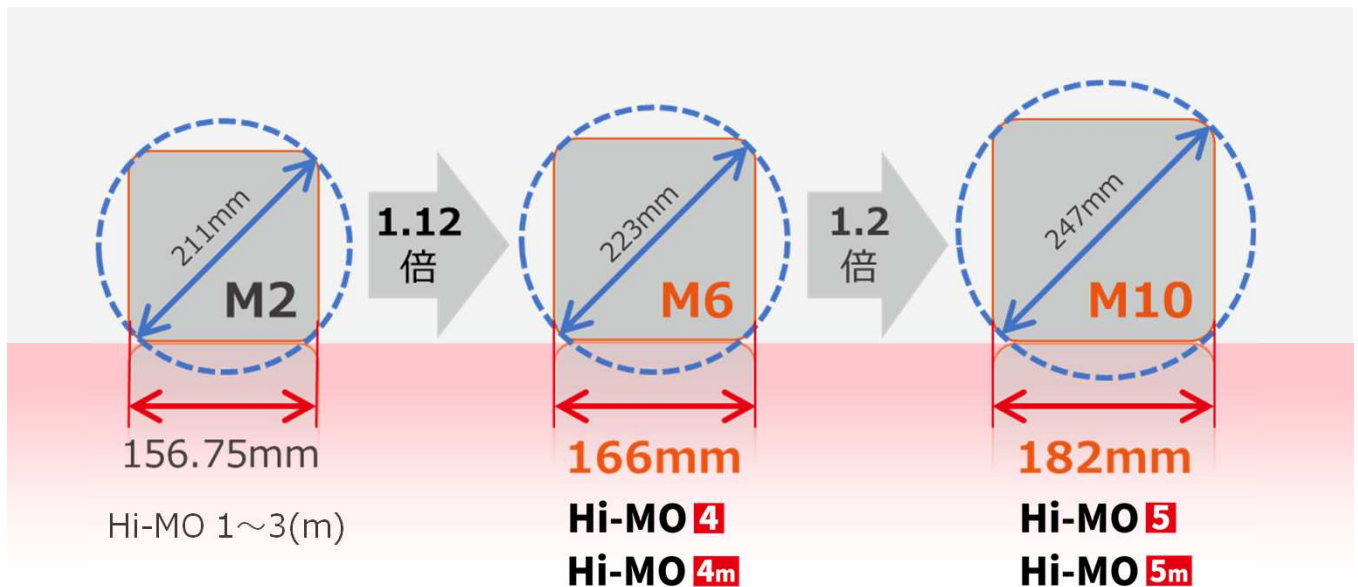
マルチバスバー

※ Hi-MO 4(m)は6本バスバー及びマルチバスバー、
Hi-MO 5(m)はマルチバスバーとなります。

従来 (5本) バスバー

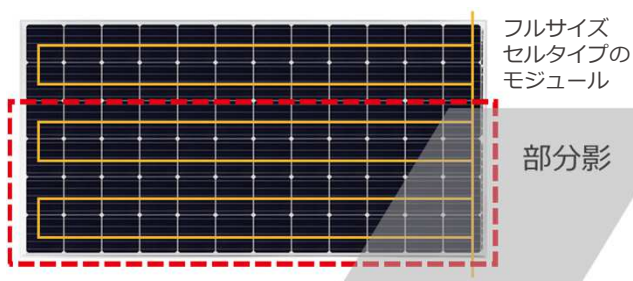
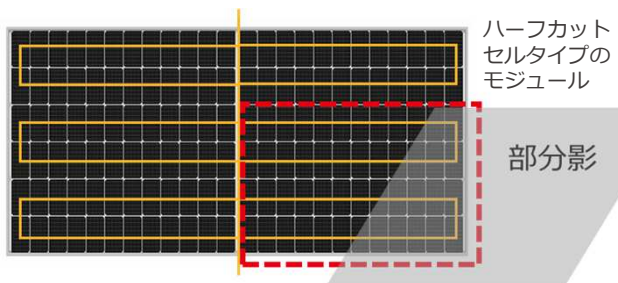
■ 新規格ウェハ：M6 & M10

太陽電池モジュール1枚あたりの出力の大幅アップを実現



■ ハーフカットセル

出力アップ、ホットスポット発生時のリスク低減、従来(フルサイズセルタイプ)モジュールに比べて部分影による発電量低下を抑制



- ✓ 内部抵抗損失の低減による出力の向上
 - 電力の内部抵抗損失 = [電流値]の2乗 × [内部抵抗]
 - 電流値が1/2になることで、内部抵抗損失が1/4に。
- ✓ 動作温度を低下
- ✓ ホットスポット発生時の温度が 10~20℃ 低下
- ✓ 部分影の影響範囲（下図の赤点線枠内）が少ない

信頼性評価

PVEL & DNV GL 「PVモジュール信頼性スコアカード 2020年版」

評価方法：
IEC規格の最大3倍の厳しい試験プログラム（2020年）

（例）	IEC規格	PVEL/DNV GL
温度サイクル試験	200 回	600 回
高温高湿試験	1,000 時間	2,000 時間
PID試験	96時間	192時間

年(回)によって、カテゴリ数、試験内容は異なります。

試験用サンプルモジュール：
試験用にメーカー側が準備したサンプルではなく、そのモデルが通常生産される工場からの無作為に抽出されたもので試験が行われる（仕様通りの部材が使用されていることも確認される）

PVEL=PV Evolution Labs：
2014～18年、DNV GLの傘下で本評価の試験を担当。
2019年 1月に再独立し、本評価試験を継続して担当。
評価の公表及びその活用はDNV GLと共同で実施。

トップ・パフォーマーを、全ての信頼性カテゴリで、4年連続獲得

- 4つの判定カテゴリ[温度サイクル／高温高湿／機械的荷重等／PID]のうち、1つでも合格すれば「トップ・パフォーマー」となる。
- 2020年のトップ・パフォーマー獲得は全22社。
- ただし、信頼性に関する4つの判定カテゴリ全てでのトップ・パフォーマー獲得は22社中、LONGiを含む5社のみ。しかも、LONGi は4年連続。



太陽電池モジュール出荷量上位10社(2019年)の2020年トップ・パフォーマー獲得状況と、信頼性全カテゴリ獲得の履歴(2017年以降分)

	温度サイクル	高温多湿	機械的荷重等	PID	信頼性全カテゴリ獲得の履歴
LONGi	●	●	●	●	2017-2020年, 4年連続
A社	●	●		●	2017-2018年
B社				●	2019年
C社	●	●		●	2017-2018年
D社	●	●	●	●	2020年
E社	●	●		●	
F社	全て未獲得、または、不参加				
G社	●	●		●	
H社	●	●		●	2018-2019年
I社	●			●	2018年

性能・品質・信頼性評価

米国 RETC 「PVモジュール・インデックス」

評価方法：

信頼性指標においてはIEC規格の最大5倍の厳しい試験

信頼性指標	温度サイクル試験	1,000 回
	高温高湿試験	2,000 時間
	動的機械荷重等	DML1000Pa ×1000回 +TC50 +HF30
	紫外線照射試験	45kWh×2回
	PID	196 時間
性能指標	モジュール変換効率	19 %以上
	・PVUSA Test 条件での試験 ・PANファイルでのPVsystシミュレーション ・LIDテスト ・LeTIDテスト	
品質指標	・製品評価プログラム内容確認 ・仕様の小変更時の認証への対応が適切か ・評価対象製品の無作為抽出 ・工場監査体制	

試験方法：

46社、150種以上、2500枚以上のモジュールを個別に試験

RETC (Renewable Energy Test Center, LLC)：

- ・所在地：米国カリフォルニア州 ・設立：2009年
- ・事業内容：太陽光パネル、および蓄電池の安全性・長期信頼性評価のための試験サービス
- ・株主：丸紅株式会社70%
PFIL North America Inc.30%
- ・ステータス：IECの最高認定の「CB試験所」ステータス・・・国際試験所認定機構(ILAC)傘下の米国試験所認定協会(A2LA)により認定
- ・試験所：米国ネバダ州(砂漠/米国南西部の気象条件用)、フィリピン(熱帯/高温多湿の気象条件用)。共に「屋外耐久性」と「長期的性能」の試験機能有。

High Achiever Award (最優秀賞)

- ・3つの指標（信頼性／性能／品質）全てに合格したLONGi 含む2社のみが、「ハイ・アチーバー・アワード」を獲得



性能（屋外実発電量）評価

TÜV Rheinland (テュフ・ラインランド)
第6回 “All Quality Matters” PV Congress
太陽電池モジュールの屋外発電量評価とランキング
片面発電部門&両面発電部門 (2020年6月)

No. 1

評価方法：

各社が用意した量産品1,000枚の中からランダムに5枚を抽出し、実験室での試験と、米国アリゾナ州テンペでの半年間の屋外試験の結果に基づいて、評価・ランキング

参考) LONGi の過去の受賞 [部門と結果]：

2019年：1位

2018年・2017年：「PV Module Power Generation Simulation」単結晶グループにおいて2年連続1位。

CTC (中国建材検査認証集団)

PVモジュール 屋外出力劣化評価：

	劣化率
1年目	0.38%
2年目	0.32%
3年目	0.36%
3年間累積	1.06%

3年間の累積劣化率が
全単結晶モジュールの
中で最小

No. 1

(3年連続)

試験用サンプルモジュール：

客観性と公平性を担保する為、CTCは各企業に抜き取り検査情報を知らせず、工場のラインや倉庫から無作為に選ばれ、試験場に送られています。(ブラインド方式)

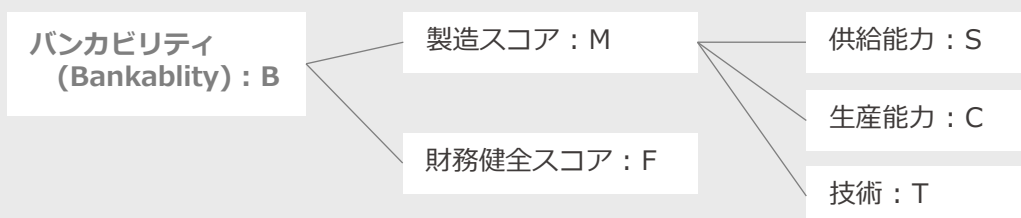
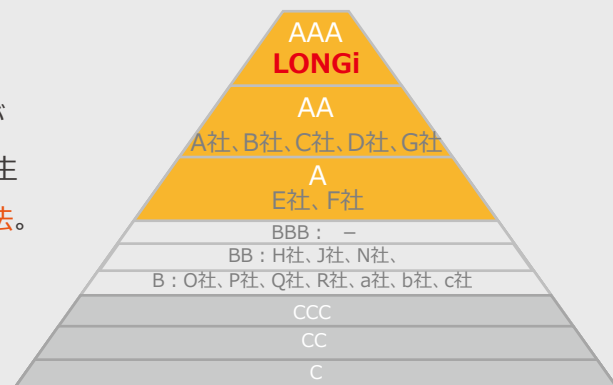
総合的バンカビリティ

Solar Media社 “ PV-Tech ” による「 PV ModuleTech Bankability 格付け」

唯一のAAA格付け

PV-Tech (Solar Media社)のPV Tech分析チームが
5年間の研究成果として開発し、2019年10月に誕生
した総合的なバンカビリティ(Bankability)判定手法。
LONGi は3期連続※ で最上位格付けのAAAを唯一
獲得したモジュールメーカーです。

※ 3期連続 = 2020年第1四半期から第3四半期のリリースにおいて



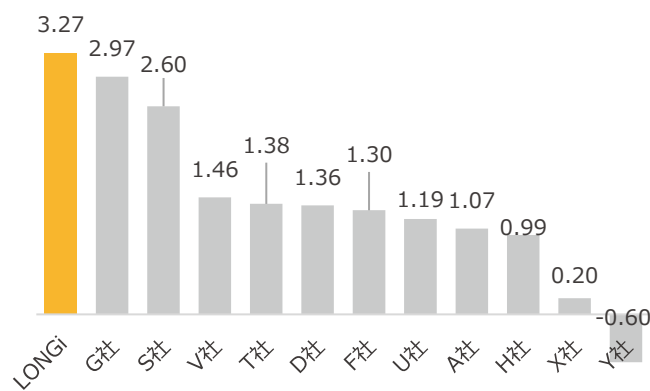
この手法では、Bankability(バンカビリティ)「B」は、製造スコア「M」と財務健全スコア「F」から成り立ち、その内の製造スコア「M」は、供給能力「S」・生産能力「C」・技術「T」の3つから成ります。

バンカビリティ

- ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス (Bloomberg New Energy Finance [BNEF]) レポート
“ Global PV Outlook Q3 2020 ” (2020.08.21) より

Bloomberg NEF Tier 1 module maker

Tier 1 (ティア・ワン) リスト :
過去2年間に、6件以上のノンリコース融資プロジェクトに採用
されているモジュールメーカーのリスト



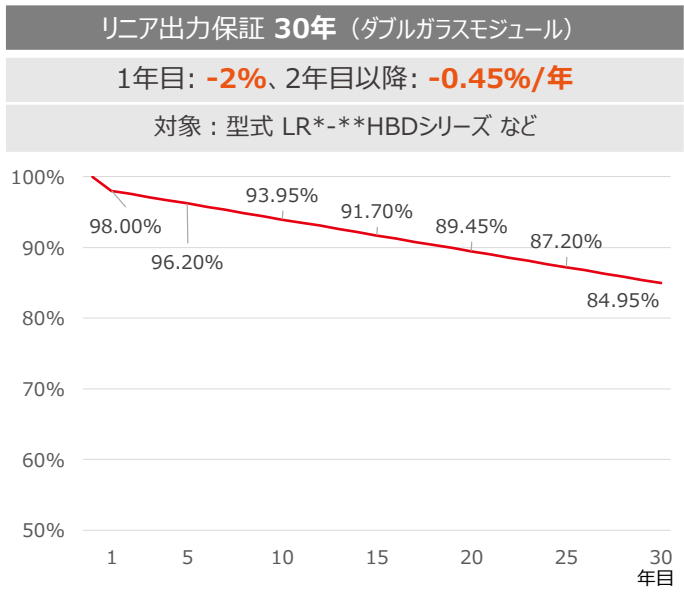
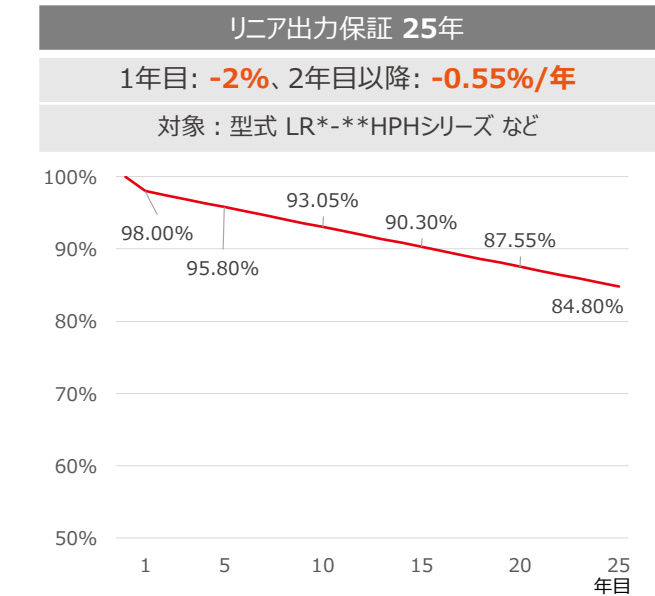
「アルトマン Z スコア (Altman-Z score) 」
(PVメーカーに対する財務面での安全性評価)

Hi-MO 4 Hi-MO 4m

■ 60セルクラスタイプ					
型式	"Hi-MO 4m" LR4-60HPH シリーズ				
	LR4-60HPH-360M	LR4-60HPH-365M	LR4-60HPH-370M	LR4-60HPH-375M	LR4-60HPH-380M
公称最大出力 [Pmax] (W)	360	365	370	375	380
公称開放電圧 [Voc] (V)	40.5	40.7	40.9	41.1	41.3
公称短絡電流 [Isc] (A)	11.35	11.43	11.52	11.60	11.69
公称最大出力動作電圧 [Vpmax](V)	34.0	34.2	34.4	34.6	34.8
公称最大出力動作電流 [Ipmax](A)	10.59	10.68	10.76	10.84	10.92
モジュール変換効率 (%)	19.8	20.0	20.3	20.6	20.9
最大出力温度係数 [α Pmax]	-0.350%/℃				
保証内容	製品保証: 12年 / リニア出力保証: 25年				
出カケーブル	4mm ² × 1200mm(長さはカスタマイズ可能)				
コネクタ	MC4互換				
寸法 / 質量	1755×1038×35 mm / 19.5 kg				
梱包仕様	30枚/パレット、180枚/20'GPコンテナ、780枚/40'HCコンテナ				

■ 72セルクラスタイプ						"Hi-MO 4m" LR4-72HPH シリーズ				"Hi-MO 4" LR4-72HBD シリーズ(両面発電・ダブルガラス)			
型式	LR4-72HPH -435M	LR4-72HPH -440M	LR4-72HPH -445M	LR4-72HPH -450M	LR4-72HPH -455M	LR4-72HBD -435M	LR4-72HBD -440M	LR4-72HBD -445M	LR4-72HBD -450M				
公称最大出力 [Pmax] (W)	435	440	445	450	455	435	440	445	450				
公称開放電圧 [Voc] (V)	48.7	48.9	49.1	49.3	49.5	49.1	49.2	49.4	49.6				
公称短絡電流 [Isc] (A)	11.39	11.46	11.53	11.60	11.66	11.36	11.45	11.52	11.58				
公称最大出力動作電圧 [Vpmax](V)	40.9	41.1	41.3	41.5	41.7	40.8	41.0	41.2	41.4				
公称最大出力動作電流 [Ipmax](A)	10.64	10.71	10.78	10.85	10.92	10.66	10.73	10.80	10.87				
モジュール変換効率 (%)	20.0	20.2	20.5	20.7	20.9	20.0	20.2	20.5	20.7				
最大出力温度係数 [α Pmax]	-0.350%/℃												
保証内容	製品保証: 12年 / リニア出力保証: 25年					製品保証: 12年 / リニア出力保証: 30年							
裏面発電効率	-					70±5%							
出力ケーブル	4mm ² ×1400mm(300mmまたは長さのカスタマイズも可能)					4mm ² ×1400mm(300mmまたは長さのカスタマイズも可能)							
コネクタ	MC4互換												
寸法 / 質量	2094×1038×35 mm / 23.5 kg					2094×1038×35 mm / 27.5 kg							
梱包仕様	30枚／パレット、150枚／20'GPコンテナ、660枚／40'HCコンテナ					30枚／パレット、150枚／20'GPコンテナ、660枚／40'HCコンテナ							

リニア出力保証



Hi-MO 5 Hi-MO 5m

■ 66セルクラスタイプ

■ 66セルクラスタイプ	"Hi-MO 5m" LR5-66HPH シリーズ			"Hi-MO 5" LR5-66HBD シリーズ(両面発電・ダブルガラス)		
型式	LR5-66HPH -490M	LR5-66HPH -495M	LR5-66HPH -500M	LR5-66HBD -485M	LR5-66HBD -490M	LR5-66HBD -495M
公称最大出力 [Pmax] (W)	490	495	500	485	490	495
公称開放電圧 [Voc] (V)	45.25	45.40	45.55	45.10	45.25	45.40
公称短絡電流 [Isc] (A)	13.74	13.82	13.90	13.67	13.74	13.82
公称最大出力動作電圧 [Vpmax](V)	38.08	38.23	38.38	37.93	38.08	38.23
公称最大出力動作電流 [Ipmax](A)	12.87	12.95	13.03	12.79	12.87	12.95
モジュール変換効率 (%)	20.9	21.1	21.3	20.6	20.9	21.1
最大出力温度係数 [α Pmax]	-0.350%/℃					
保証内容	製品保証: 12年 / リニア出力保証: 25年			製品保証: 12年 / リニア出力保証: 30年		
裏面発電効率	-			70±5%		
出力ケーブル	4mm ² ×300mm(長さのカスタマイズも可能)					
コネクタ	MC4互換					
寸法 / 質量	2073×1133×35 mm / 25.1 kg			2073×1133×35 mm / 30.1 kg		
梱包仕様	31枚/パレット、155枚/20'GPコンテナ、682枚/40'HCコンテナ			31枚/パレット、155枚/20'GPコンテナ、682枚/40'HCコンテナ		

■ 72セルクラスタイプ

■ 72セルクラスタイプ	"Hi-MO 5m" LR5-72HPH シリーズ			"Hi-MO 5" LR5-72HBD シリーズ(両面発電・ダブルガラス)		
型式	LR5-72HPH -535M	LR5-72HPH -540M	LR5-72HPH -545M	LR5-72HBD -530M	LR5-72HBD -535M	LR5-72HBD -540M
公称最大出力 [Pmax] (W)	535	540	545	530	535	540
公称開放電圧 [Voc] (V)	49.35	49.50	49.65	49.20	49.35	49.50
公称短絡電流 [Isc] (A)	13.78	13.85	13.92	13.71	13.78	13.85
公称最大出力動作電圧 [Vpmax](V)	41.50	41.65	41.80	41.35	41.50	41.65
公称最大出力動作電流 [Ipmax](A)	12.90	12.97	13.04	12.82	12.90	12.97
モジュール変換効率 (%)	20.9	21.1	21.3	20.7	20.9	21.1
最大出力温度係数 [α Pmax]	-0.350%/℃					
保証内容	製品保証: 12年 / リニア出力保証: 25年			製品保証: 12年 / リニア出力保証: 30年		
裏面発電効率	－			70±5%		
出力ケーブル	4mm ² ×300mm(長さのカスタマイズも可能)					
コネクタ	MC4互換					
寸法 / 質量	2256×1133×35 mm / 27.2 kg			2256×1133×35 mm / 32.3 kg		
梱包仕様	31枚/パレット、155枚/20'GPコンテナ、620枚/40'HCコンテナ			31枚/パレット、155枚/20'GPコンテナ、620枚/40'HCコンテナ		

ご提供できる出力は納入時期等により異なり、かつ、限定されます。表記にはJP-ACに今後登録される予定の出力も含まれている場合があります。
 注) 製品仕様は予告なく変更する場合があります。具体的なご検討の際には仕様・出力・納期を必ず担当営業へお問い合わせください。また、ご購入の際は最新の製品仕様書をご確認ください。

設置事例（日本国内）



埼玉県美里町 6.73MW 「陣見の里発電所」
（株式会社恒電社様、営農型シェアリング発電所）



・石川県小松市 0.52MW 「尾賀亀戸津力発電所」
・福井県あわら市 0.86MW 「尾賀亀あわら発電所」
・滋賀県甲賀市 0.85MW 「尾賀亀水口発電所」
（株式会社尾賀亀様）



奈良県天理市 1.81MW 「武蔵新池太陽光発電所」 「武蔵古池太陽光発電所」 「檜垣新池水上太陽光発電所」 （水田湖二株式会社様、水上フロート設置）

※ 写真提供：株式会社シエル・テール・ジャパン様



石川県志賀町 13.89MW 「石川県志賀町メガソーラー発電所（La Energía Ciervo Rojo）」 （太陽光パーク2合同会社様）

※ 写真提供：株式会社エンバイオ・ホールディングス様

設置事例（海外）



中国・陝西省 100MW



米国・マサチューセッツ州 120MW



インド・カルナータカ州 170MW



2000年に創業した私達LONGiは、
2020年、お陰様で20周年を迎えました。



LONGi Solar Technology 株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル24階

TEL : 03-3516-6300 FAX : 03-3516-6301

URL : <https://jp.longi-solar.com/>

E-mail: solar.jp@longigroup.com

本冊子に掲載の情報は2020年 9月時点のものです。

CA202009H15RKSK

お問い合わせ、お求めのご相談は下記までどうぞ。